

練りの嵐

操作説明書 Ver6.3

うねり取り 練習専用 EXCEL ツール

2017年9月10日

作成者: うねりドリらぁ

このたびは、練りの嵐をダウンロードしていただき、ありがとうございます。<(_ _)>

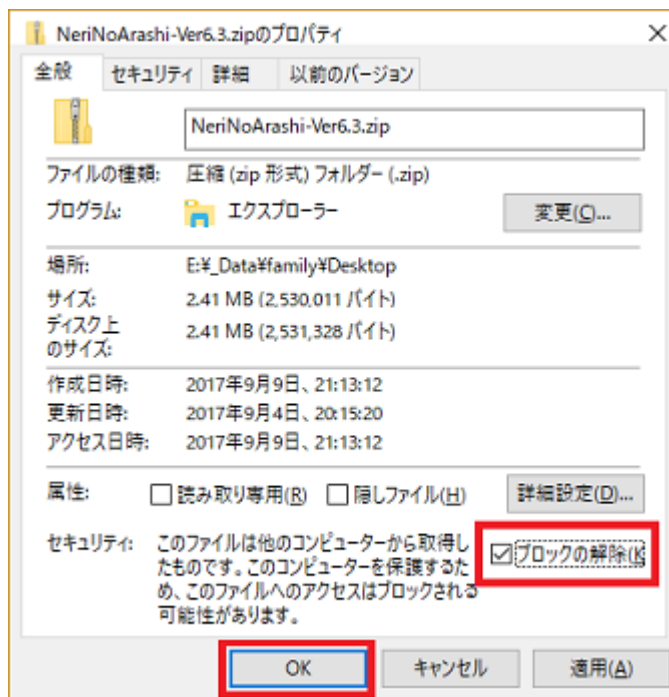
ダウンロードいただいた zip ファイルを解凍する際には、以下に示す留意事項がありますのでご配慮願います。

Windows では、インターネット上からダウンロードしたファイルに対し「特殊なフラグ」が付けられます。

さらに、OS 付属の zip ファイルの展開機能を使った場合、展開した先のファイルにも、この「特殊なフラグ」が引き継がれてしまいます。

「特殊なフラグ」が付いている実行ファイル（EXCEL マクロ、BAT ファイル、パワーシェル等）は Windows のセキュリティ機能により、その実行が制限されて正常な動作ができません。練りの嵐でも一部機能に使用しておりますので、以下の手順で処置をお願いします。

ダウンロードした zip ファイルを右クリックしてプロパティを開き、「ブロックの解除」をチェックして「OK」をクリックします。展開前の zip ファイルならば、zip ファイルのブロックを1つ解除すれば OK ですが、すでに展開済みということであれば、展開したファイル（Tools の下の拡張子 Bat と Ps1 のファイル）を1つずつ、すべてブロック解除していく必要があります。



目次

目次

1. 「練りの嵐」とは.....	4
2. 操作の概要.....	5
(1) とにかく起動してみましょう。.....	5
(2) ウィンドウ調整1 [EXCEL2007/2010で、解像度1366x768の場合].....	7
(3) ウィンドウ調整2 [EXCEL2013/2016の場合].....	10
(4) 利用の流れ.....	13
3. 建玉シート.....	14
(1) 建玉シートの入力仕様.....	14
4. チャートシート.....	17
(1) チャートシートの表示機能.....	17
(2) チャートシートの編集機能.....	19
5. 株価データの装着.....	21
(1) 株価データの形式.....	21
(2) 株価データの装着.....	22
(3) 株価データの取得について.....	23
6. 練習ファイルの一括生成.....	26
7. アクティベーション.....	27
8. 制限事項等.....	28

「練りの嵐」とは

1. 「練りの嵐」とは

「**練りの嵐**」は、株の強力なトレード手法である「うねり取り」の練習専用Excel表ツールです。

名称はその名のとおり、「**練習の嵐**」という意味で、「うねり取り」の千本ノック練習に活用できます。

(過去データでの練習のお伴には「**練りの嵐**」が、実際の株式市場の変動に即した練習には「**練りの用心棒**」が適しています。)

練りの嵐は、予め装着した過去株価データシートでのチャートを一日ずつ進めながら疑似トレードを行い、

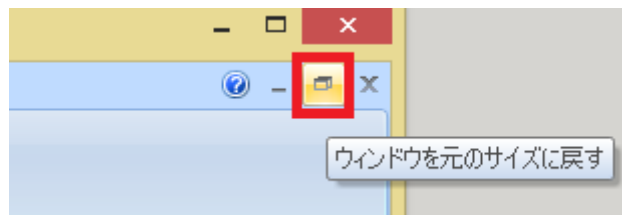
具体的な結果(儲け具合)と勝率を確認しながら楽しく且つ軽快に練習を進めることができます。

練習を始めたら、つい、数年間分を一気にやってしまいたくなるかもしれません。

お試し中は、株価シートの末尾10日分の操作のみに制限されます。

ライセンスをご購入いただいた場合は「**_アクティベーション-練りの嵐6.xlsm**」を使用して有効化してください。

(注：起動時に1画面しか出ない場合は、EXCELシートが最大化されているかと思います。この場合は、EXCEL右上の「ウィンドウを元のサイズに戻す」ボタンを押してみて、2画面構成にしてください。)



※：以降の説明では、左側画面を「チャートシート」右側画面を「建玉シート」と表現します。

② 後は、右側画面の「売-買」のセルに建玉を入力していただくだけです。

チャートを進めるのも、損益計算もすべて自動でやってくれますので軽快に建玉練習ができます。

③ 建玉を変えずに継続をするときは、「. (ピリオド)」を入力します。

④ 「区切る」ときは「0-0」で建玉を入力します。行が緑色(アンダーライン付)となります。(投入額は0になります)

⑤ 途中で保存するときは、ウィンドウ配置がくずれないように、必ず、2画面状態で「上書き保存」してから閉じてください。

「上書き保存」せずに終了させると、1ウィンドウずつ正常に閉じられ、最後は一つのウィンドウが最終状態と記憶されます。この場合は面倒ですが次の手順で配置し直してください。

- ・「表示」タブ内の「新しいウィンドウを開く」をクリックします。
⇒ 練りの嵐6.xlsx:1と:2の2つのウィンドウになります。
- ・右側に:1のウィンドウ、左側に:2のウィンドウを配置します。

注) 一般的に、黄色のセル部分は入力可能なセルという仕様で作成してあります。

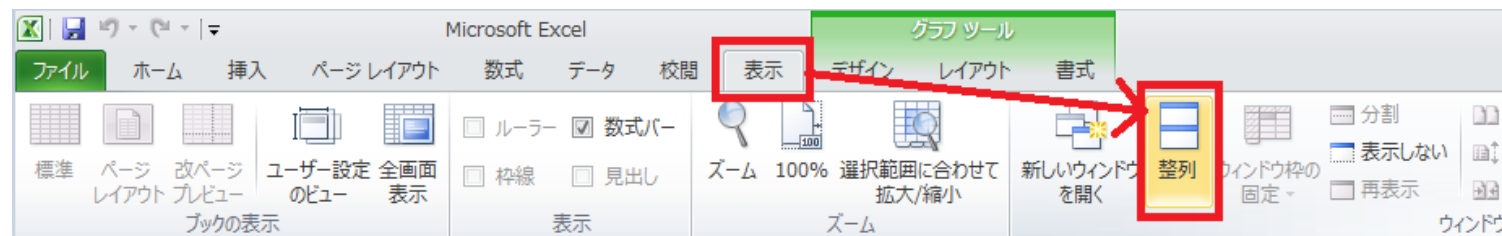
(2) ウィンドウ調整 1 [EXCEL2007/2010 で、解像度 1366x768 の場合]

練りの嵐は、解像度フルHD (1920x1080)を標準としており、WXGA (1366x768) の解像度の画面で起動すると2画面全体がうまく表示されません。この場合は以下の手順でウィンドウを再配置して下さい。

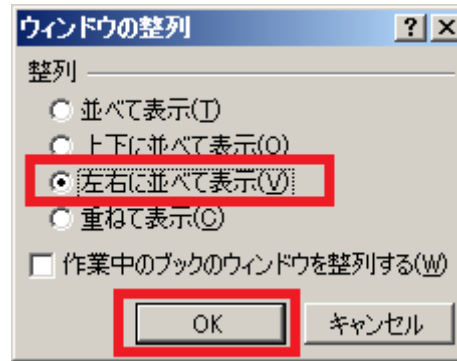
- ① 解像度が少なく、画面右下がはみ出した状態になる場合、まず、**リボンの最小化**を行います。



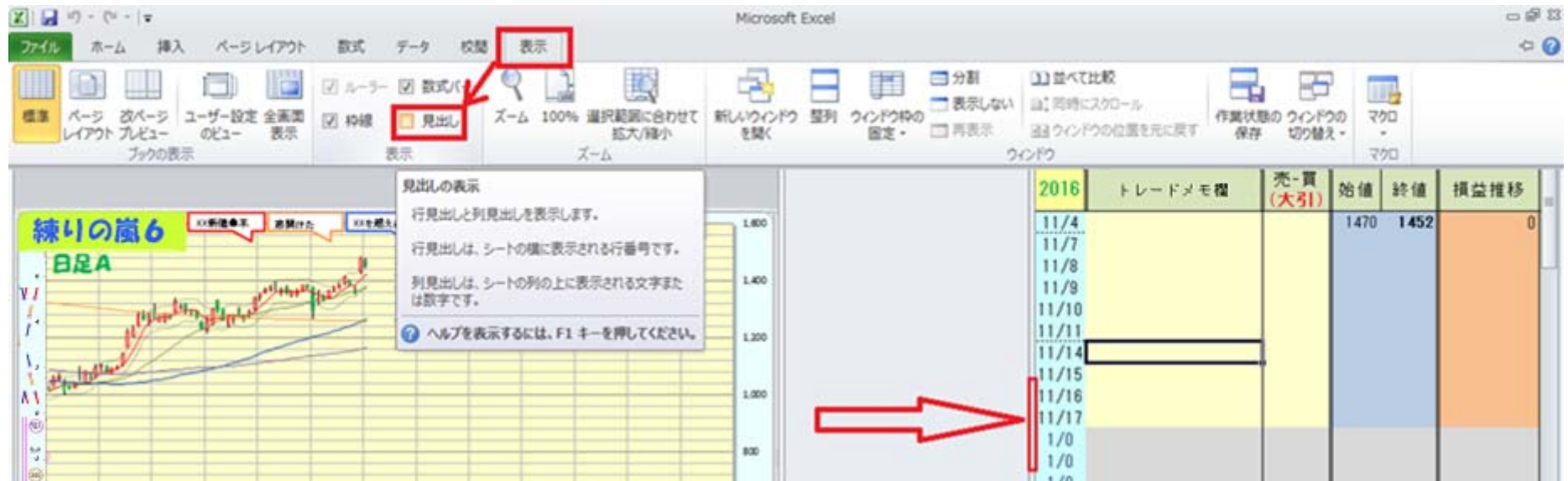
- ② 「表示」タブでウィンドウの「整列」をクリックします。



③ 「左右に並べて表示」をチェックして「OK」をクリックします。



④ 画面右側の「建玉シート」をアクティブにして、「表示」タブの「見出し」のチェックを外します。「建玉シート」の左端をドラッグして、「損益推移」の列が右端にくるまで右側に寄せます。



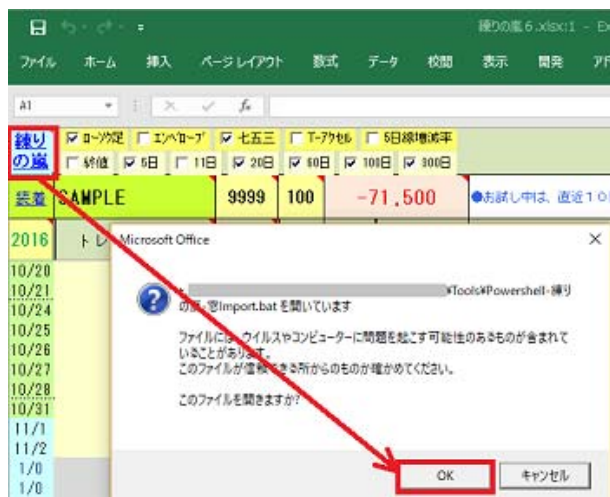
(3) ウィンドウ調整2 [EXCEL2013/2016の場合]

Excel 2013 および Excel 2016 の場合、Excel で開いているブックは 1 つの Excel ウィンドウ内の複数のブック ウィンドウに表示されず、複数の Excel ウィンドウに表示されてしまいます。この場合は以下の手順でウィンドウを再配置して下さい。

- ① 練りの嵐のエンブレムが表示されているウィンドウをクリックし最前面に表示させます。

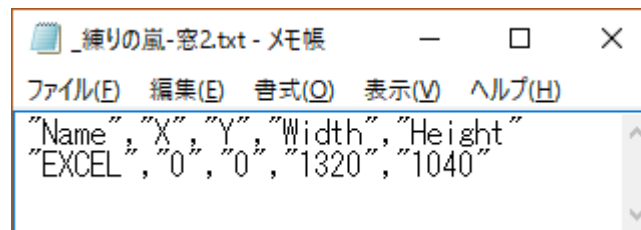
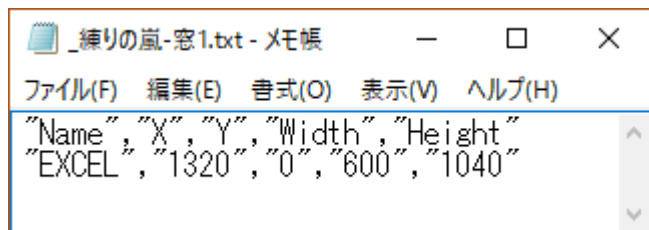


② 「練りの嵐」のエンブレムをクリックし、「Powershell-練りの嵐-窓 Import.bat」を開く確認画面が出てきたらOKを押します。



【補足】

「Powershell-練りの嵐-窓 Import.bat」では、Toolsフォルダ下の「_練りの嵐-窓1.txt」と「_練りの嵐-窓2.txt」で定義された位置にそれぞれ、建玉ウィンドウとチャートウィンドウを再配置します。



初期値は、解像度フルHD (1920x1080)用に設定されていますが、WXGA (1366x768)の解像度の画面が使われている場合は、Tools¥解像度_1366x768 フォルダの下にWXGA用の定義ファイルを用意しておりますので、その中の「_練りの嵐-窓1.txt」と「_練りの嵐-窓2.txt」をTools直下に上書きコピーしてパワーシェルを実行してください。

(4) 利用の流れ

ライセンスを入手して「練りの嵐6.xlsx」をアクティベーションした後は、以下のような流れでご利用できます。

- ① 「練りの嵐6.xlsx」を練習開始する銘柄用にコピーします。
例) 練習実施日(20161112)に、2432DeNAの2015年8月1日からのチャートを練習する場合なら、練りの嵐6_20161112_2432DeNA_20150801.xlsx というファイル名にコピーすることをお勧めします。
- ② 株価データを「株価Data」フォルダ内にCSV形式で用意します。
- ③ 練りの嵐を起動して銘柄コードと単位株数を入力し、練習開始年月日(yyyy/mm/dd形式)を入力します。
- ④ 「株価Data」フォルダ内に用意された株価データをワンクリックで練りの嵐に装着します。
←5章(2)の株価データの装着 参照
- ⑤ 日足チャートを見ながら、建玉シートの「売-買」のセルに建玉を入力していきます。
(建玉入力を進めるに従い、チャートが自動で連動して進みます。)
←3章の建玉シート 参照
- ⑥ 適宜、チャートシートをマーキング編集していきます。
←4章のチャートシート 参照

建玉シート

3. 建玉シート

(1) 建玉シートの入力仕様

※建玉シートの実体は「練りの嵐」という名称のシートです。

※セルの右上隅の赤い▲にマウスカursorを合わせると、コメント説明が表示されますので参考にしてください。

【建玉シートのサンプル】

装着		銘柄名	銘柄コード	単位株数	始値	終値	損益推移	投入額推移 (みなし)
2016		銘柄名	銘柄コード	単位株数	始値	終値	損益推移	投入額推移
10/20					3440			0
10/21					3390			339,000
10/24		下髭で反転しそう	0-1		3410	3415	-2,500	341,500
10/25			0-3		3430	3510	7,000	1,043,500
10/26		前の高値に並んだ	1-0		3510	3570	25,000	357,000
10/27			3-0		3570	3520	30,000	1,061,000
10/28		5日線を割らない	0-1		3555	3525	28,500	352,500
10/31			2-1		3515	3580	34,000	1,068,500
11/1					3565	3465	45,500	1,068,500
11/2								
1/20								

- ① 左上の「練りの嵐」と書かれた青いエンブレム欄は、ウィンドウ再配置用のツール(パワーシェル)を起動するボタンになっています。
(※ウィンドウ再配置は、EXCEL2013以降で機能します。EXCEL2007およびEXCEL2010では起動しても処理されません。)

- ② 上部には**特殊チャート**、および、**各種移動平均線の On/Off 切替ボタン**を設置しており、好みのチャート表示で練習に取り組めます。
エンベローフは5日線の±3%線を表示します。**七五三**は3・5・7日の多重移動平均線を一括表示します。
Tアクセルは3日線を元に反転予想ポイントを気まぐれにマーク表示します。
(3日線が5日間上昇(下降)の後で反落(反騰)した場合に、**ピンクのひし形**をマーク表示します。)
5日線増減率は左側目盛軸を使用して5日線の増減率(%)のチャートを表示します。
- ③ 「**銘柄コード**」(サンプルでは9999)を入力すると、「**銘柄名**」と「**単位株数**」が対応するものになります。
「**単位株数**」は、ご自分の建玉の規模に応じて修正してください。
- ④ 「**通算損益**」欄は、練習期間の損益通算を表示します。
- ⑤ 「**練習開始年月日**」を入力します。この日が、日足チャート(130日分)の左から60日目となるようにチャートが調整されます。
- ⑥ 左端列の「**月/日**」は、取引の無い日をあらかじめ削除していますので、建玉操作に集中できます。
奇数月は水色、**偶数月**は薄緑色にしています。**週の境**は点線で示すという細かな配慮をしています。
なお、株価データの無い月日の行は**灰色**に表示されます。
- ⑦ 「**トレードメモ/株価装着**」欄は適宜、建玉操作の根拠や明日以降の戦略等の記入にお使ください。
なお、この欄の**タイトル部分**は、**株価データ装着用のツール(パワーシェル)**を起動するボタンになっています。
- ⑧ 「**売-買**」欄に**大引け時点**でのうねり取りの建玉操作を入力します。(例 1-0)
建玉を入れる前の観察で日足を進めるとき、および、建玉を変えずに継続したいときは「**.(ピリオド)**」を入力します。
注) **仕様上の入力制約**: **トレードを始める際は、「.(ピリオド)」を入力して翌日の終値を表示させて開始してください。**
先頭行を除き、一連のトレードの初日にピリオド以外の建玉を入れると正しく損益計算されません。
⇒ **当日の終値で建玉を仕込み、翌日の行に翌日大引け時点での含み損益が計算されます。**
なお、**1桁目にアスタリスク[*]**を付けて建玉を入力することで、**翌日の始値を使用して損益計算することもできます。**
(例 *2-1)
- ⑨ 「**0-0**」の建玉はうねり取りの**区切り**と扱い、**当日終値で損益計算**します。行が**緑色(アンダーライン付)**となり**ビジュアル化**されます。
「***0-0**」で建玉を入力すると**翌日の始値で区切り**と扱い**損益計算**します。**区切日以降は、最初にピリオドを入力した上で再開**できます。

- ⑩ 「始値」、「終値」欄には当日の大引け時点での株価が表示されます。
- ⑪ 「損益推移」欄には、当日の大引け時点での終値を用いた損益が表示されます。
なお、当日の大引け時点での建玉操作として*付の建玉が入力された場合は、翌日始値を用いた損益で、再表示されます。
- ⑫ 「投入額推移」は、一連のうねり取りでの日々の推移がみなし計算されます。
- ⑬ 建玉シートを最大化表示させると、「売りの損益推移」と「買いの損益推移」の詳細が確認できます。
- ⑭ 一連の建玉操作を終えた後に建玉を振り返る際、この転換操作したのはどのローソク足の時点だったのかと思うことが良くあります。
この場合、直前の「. (ピリオド)」を「. . (2つのピリオド)」に置き換えてみてください。
するとアラ?不思議!?. 翌日の操作のきっかけになったローソク足に対し、
売りに転換操作した場合は上部に青い●、買いに転換操作した場合は下部に赤い▲のマークが表示されます。
あわせて建玉シート側のセルも薄い青、薄い赤に変わります。



チャートシート

4. チャートシート

(1) チャートシートの表示機能

① チャートのシートには以下の7種のシートがあります。

「日足A」130日分の日足チャート。練習開始年月日が左端から60日目(右端から70日)にくるように表示されます。

「日足B」130日分の日足チャート。練習開始年月日+60日が左端から60日目(右端から70日)にくるように表示されます。

まず、練習開始年月日から60日間分「日足A」を使用し、「日足B」は継続して次の60日分練習したい場合に使用します。

「日足中」310日分の日足チャート。練習開始年月日が左端から180日目(右端から130日)にくるように表示されます。

「日足小」500日分の日足チャート。練習開始年月日が左端から370日目(右端から130日)にくるように表示されます。

「反転A」株価データをマイナスで扱うことで、「日足」チャートを上下に反転させたチャートです。「日足A」に対応します。

「反転B」株価データをマイナスで扱うことで、「日足」チャートを上下に反転させたチャートです。「日足B」に対応します。

「日足(前読み)」日足A/Bでの建玉練習の前に行う、前読み練習専用のチャートシートです。建玉シートの最終行の建玉欄にピリオドをセットしてチャート全体を表示させ、株価の流れを読み取りながら描画パレットを使ってマーキングしていきます。

※「日足AB」および「反転AB」チャートでは10日毎に、「日足中」チャートでは20日毎に、縦軸目盛りが表示されます。

② 移動平均線は5日(赤)、20日(緑)、60日(青)、100日(紫)、300日(橙)の5種類です。

また、5日移動平均線の±3%のエンベローフ線を付けています。

※チャートの右側部分の株価データが無いエリアは、最終日の移動平均値で水平に移動平均線を作図します。

※チャートの左側部分では、平均値計算の日数不足により、平均線が一部表示されない部分があります。

③ 建玉シートで、「売-買」列が空白でない日の翌日(つまり当日の大引)までのローソク足が表示されます。

これにより、建玉の入力を進めるにつれ、日足チャートも連動して表示が進んでいきます。

建玉操作を開始したい日付の「売-買」欄にピリオドを入力して、当日までのチャートを表示し、練習を開始していきます。

④ 縦軸目盛りの調整

株価が大きな銘柄は、以下の手順で、最安値・最高値の近辺でキリのいい値を設定し、チャートを大きくすることができます。

a) チャートの右端の目盛りの数字を右クリックし、「軸の書式設定」を選択します。

b) 「軸のオプション」の「最小値」および「最大値」欄の「固定」にチェックを入れ、最小値および最大値を調整します。

下図は2,000と4,000に調整している例です。なお、株価の動いている方向の術野を少し広くとるのが良いかと思います。



※縦軸目盛りを調整後、チャートは(2)の①のC図のようになります。

(2) チャートシートの編集機能

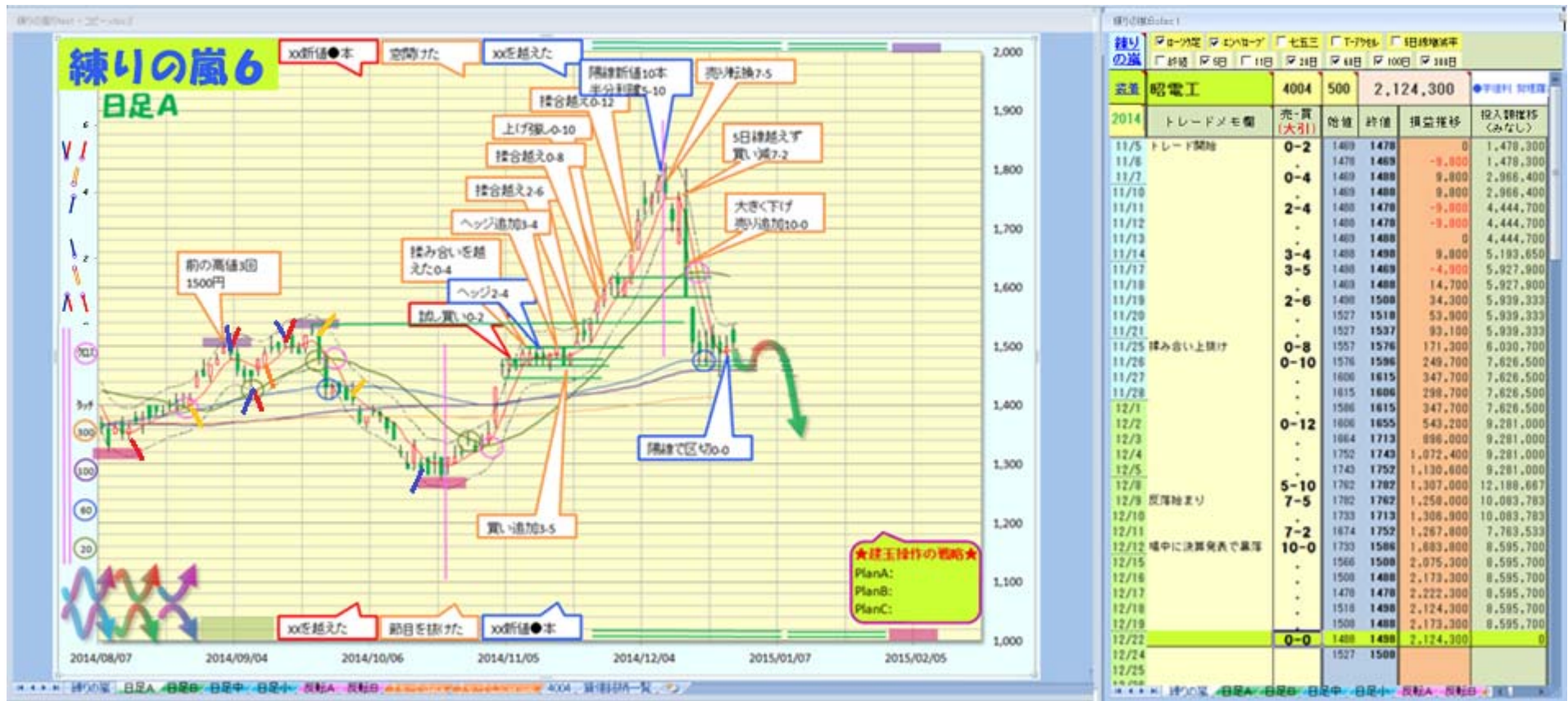
① チャートの周囲の淵に便利なパレットを配置していますので、適宜、コピーしてリーディングと戦略立案に活用できます。

図形操作の詳細についてはEXCELのマニュアルを参照願います。

※ワンポイント：「株価予想ライン」は、右クリックして「頂点の編集」機能を使えば、自由な形に変形編集することができます。



② 実際にパレットを使ってマーキングしてみましたので、参考にしてください。



③ チャートシートは、シートの複製ができます。（図の左下の緑色の四角枠参照）

シートを複製することで、以前のマーキングを温存したまま、容易に新たなシートで別プランの建玉練習ができます。

④ 日足Aチャートの練習に続けて、その3か月後の日足Bチャートで練習する際、作図した図形をコピー流用するには、

「検索と選択」 / 「オブジェクトの選択」で図形を範囲指定して、コピー (Ctrl+C) & ペースト (Ctrl+V) することができます。

株価データの装着

5. 株価データの装着

(1) 株価データの形式

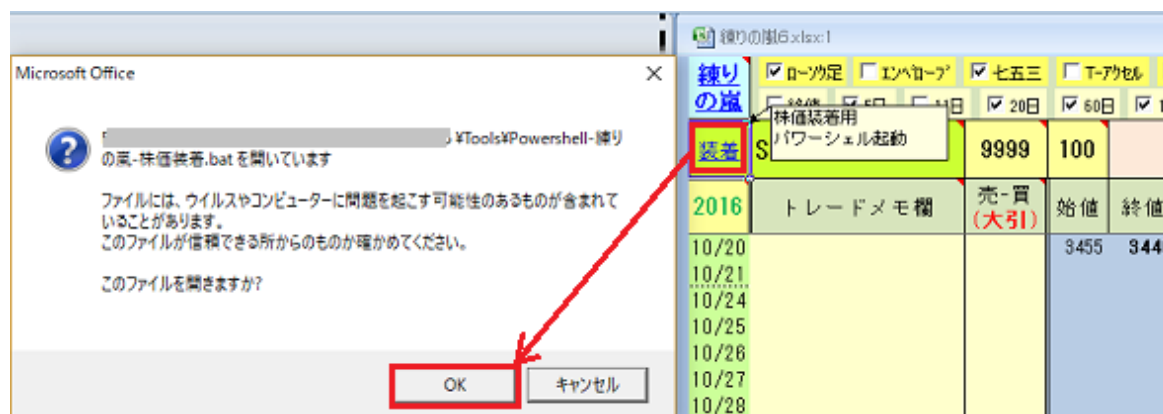
練りの嵐は、「株価 Data」フォルダ内から株価データを取り込みます。ファイル形式は以下の仕様です。

- ① CSV形式で、ファイル名は「銘柄コード.csv」とします。
銘柄コードは数字4桁です。なお、日経平均の場合は `i101.csv` というファイル名にしてください。
- ② 1行目はヘッダ行です。日付、始値、高値、安値、終値の順となります。
- ③ 2行目以降は、十分な日数分の株価データをセットしてください。
(目安：日足小チャートで左端まで300日線を表示するには、練習開始年月日以前の370日+300日分必要です)
- ④ ソートした後に取り込みますので、日付の昇順/降順どちらでもOKです。
(株価データは出来高情報を6列目に含む場合がありますが、練りの嵐はサイズを抑えるために6列目をカットして取り込みます。)

(2) 株価データの装着

練りの嵐は、Windowsのパワーシェルを使用して、株価データの装着(取り込み)を行います。

- ① 建玉シートの「装着」をクリックし、「Powershell-練りの嵐-株価装着.bat」を開く確認画面が出てきたらOKを押します。



- ② セットされている銘柄コードを元に、「株価Data」のフォルダ下に用意された株価データ(銘柄コード.csv)を日付の降順でソートして、株価シートとして装着されます。Enterキーで画面を閉じます。

```
G:\WINDOWS\System32\WindowsPowerShell\v1.0\powershell.exe

*** 【練りの嵐】株価データの装着処理 ***

「株価Data」のフォルダ下に用意された株価データ(銘柄コード.csv)を
日付の降順にソートして 練りの嵐 に装着します。
※ 既に株価Dataのシートが存在していれば、差し替えを行います。

=====< 9999 : サンドラッグ が指定されています >

=====< 9999 : サンドラッグ の株価シートを更新しました。 >

続行するには、Enter キーを押してください...
```

※練りの嵐のEXCEL内に、指定の株価Dataのシートが存在する場合は、差し替えられます。

(3) 株価データの取得について

練りの嵐では「株価 Data」フォルダ下の株価データファイル準備は利用者様にて実施いただくこととしており、**サポートの対象外**です。

本項では参考として、**3つの取得方法**を紹介していますが、**自己責任にて利用願います**。

[A] パンローリング社のツールを利用する方法

パンローリングチャートギャラリーは以下の URL から入手できます。試用版でも株価データが取得可能です。

<http://www.panrolling.com/pansoft/download.html>

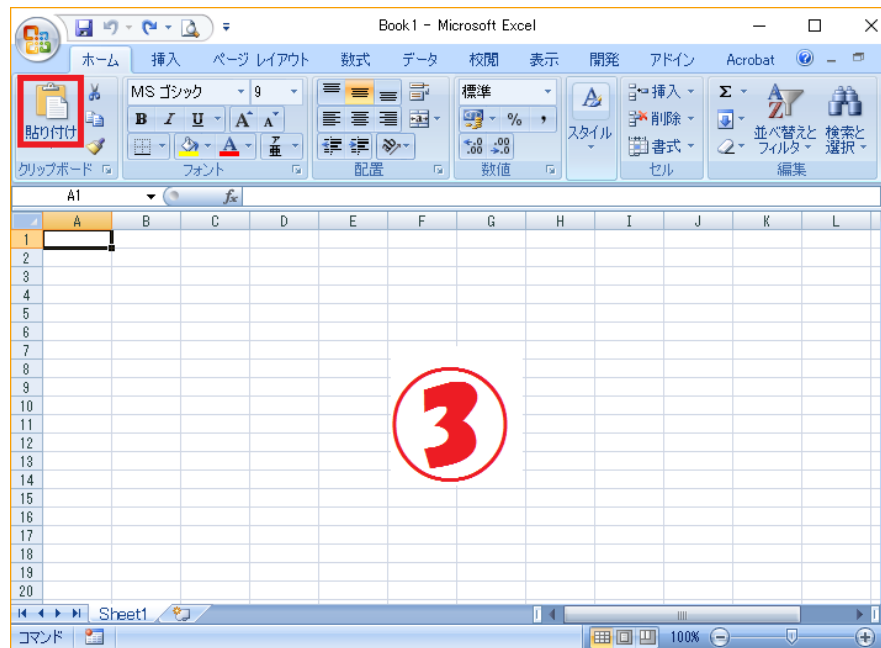
① パンローリングチャートギャラリーに対象銘柄のチャートを表示させ、ツールバー「表示」 / 「表形式」をクリックします。



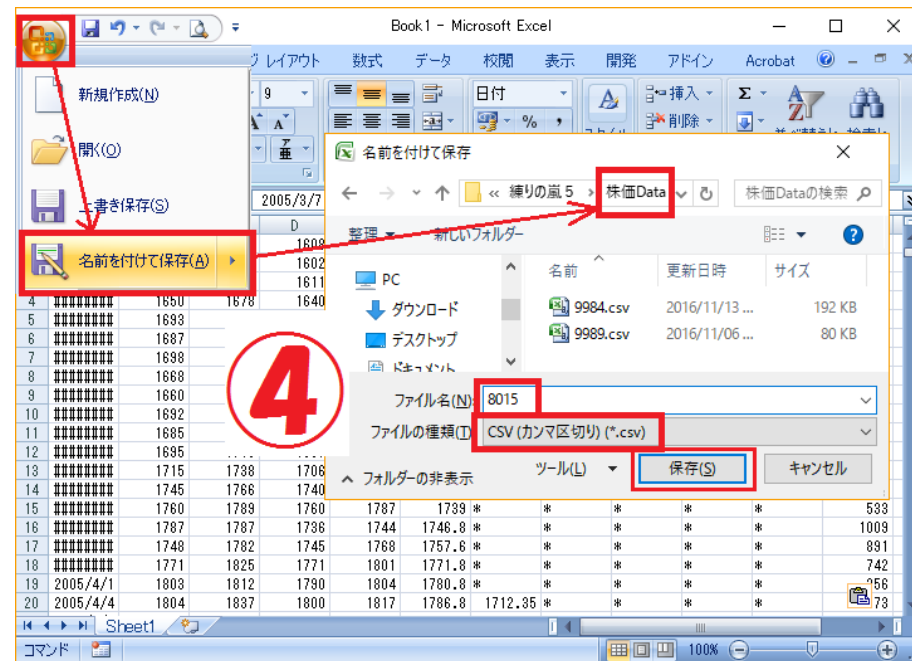
② 株価リストが出てきたら、ツールバーの「編集」 / 「コピー」をクリックします。



- ③ 新規にEXCELを起動してA1セルが選択されている状態で、「貼り付け」ボタンをクリックします。



- ④ 「名前を付けて保存」で「株価Data」フォルダ内に、CSVファイルで株価コード(数字4桁)のファイル名で格納します。



【B】 株価提供サイト (<http://k-db.com/>) から取り込む方法

以下の URL (□□□□に銘柄コード、■■■■■に西暦を指定) を使えば 1年ごとの株価データが CSV 形式で取り込めます。

数年分をマージして、日付の降順でソートして取り込むこともできます。 (← この方法は非常に手間がかかります。)

<http://k-db.com/stocks/□□□□?year=■■■■■~&download=csv>

【C】株価提供サイト (http://stooq.com/) から取り込む方法

作者のホームページ (http://hp.vector.co.jp/authors/VA059646/) に

参考となる「株価ダウンロードツール」のサンプル BAT ファイルを掲載しています。

- ① 株価ダウンロードツール(テキストファイル)を任意のフォルダに格納して、拡張子を「.txt」から「.BAT」に変更します。
- ② BAT ファイルをダブルクリックで実行して、年数と銘柄コードを入力します。
- ③ ブラウザが起動して株価データが表示されたら、ウィンドウ下部にある「Download data in csv file」をクリックし、「名前を付けて保存」で「株価 Data」フォルダ内に、株価コード、CSV の4桁数字のファイル名に修正して格納します。

年数指定

銘柄指定

ブラウザが起動し、Stooqサイトが開きます

ここをクリック、名前を付けて保存でCSVファイルを格納します

No.	Date	Open	High	Low	Close	Volume
2531	27 Apr 2016	1726	1737	1656	1696	10,220,600
2530	26 Apr 2016	1828	1855	1744	1759	7,351,400
2493	3 Mar 2016	1500	1586	1499	1580	11,122,764
2492	2 Mar 2016	1411	1484	1398	1482	8,217,660

5411_jp_d.csv について行う操作を選んでください。
場所: stooq.com

保存 名前を付けて保存 キャンセル

練習ファイルの一括生成

6. 練習ファイルの一括生成

一連の練習ファイルが予め用意されていると、練習の取り掛かりが楽ちんになります。

練りの嵐 Ver6.1以降ではステンシル(コピー元ファイル)から一連の練習ファイルを一括生成するパワースhellを装備しました。利用手順は以下のとおりです。

- ① アクティベーションを実施した練りの嵐の EXCEL ファイルを「**練りの嵐-ステンシル.xlsx**」というファイル名でコピー格納します。
- ② 「**練りの嵐-ステンシル.xlsx**」を開いて、練習する**銘柄コード**を入力し、対応する**株価データ(12年分)**を装着して格納します。
- ③ 起動している EXCEL があれば終了します。
- ④ Tools フォルダ内にある「**Powershell-ステンシルコピー.bat**」をダブルクリックして実行します。

```
C:\WINDOWS\System32\WindowsPowerShell\v1.0\powershell.exe
xxxx 【練りの嵐】一連の練習ファイル群の生成 xxxxx
ステンシルファイル(練りの嵐-ステンシル.xlsx)を、半年単位に10年分コピーして練習ファイルを準備します。
(銘柄コードを入力し、株価データを装着したステンシルファイルを事前に用意しておいてください)
全てのEXCELを一旦閉じてください。EXCELを自動起動してコピー処理を始めていきます。
続行するには、Enter キーを押してください...:
===== < ステンシルの情報 銘柄: 6479 ミネベア > =====
===== < 6479 ミネベア_20070101.xlsx を作成しました。
===== < 6479 ミネベア_20070701.xlsx を作成しました。
===== < 6479 ミネベア_20080101.xlsx を作成しました。
} 半年単位に10年分生成されます。
===== < 6479 ミネベア_20170701.xlsx を作成しました。
続行するには、Enter キーを押してください...:
```

「**(コード)(銘柄名)_YYYYMMDD.xlsx**」という名前で、一連の練習ファイル(半年単位)を10年分コピーして一括生成します。(自動起動のEXCELで処理されます)

※ 各ファイルの練習開始年月日は、各年の1/1または、7/1にセットされています。

※ 前読み練習のために、日付の最下行に、(ピリオド)がセットされています。通常の建玉操作練習をする際にはこのピリオドを削除して進めてください。

アクティベーション

7. アクティベーション

正規購入されたライセンスキーを適用することで、利用制限を解除できます。以下の手順でアクティベーションを実施してください。
(お試し中は、株価シートの末尾 10 日分の操作のみに制限されています)

- ① 「_アクティベーション-練りの嵐6.xlsx」を起動します。

※画面左上に「セキュリティの警告 マクロが無効にされました」と表示されている場合は、「コンテンツの有効化」のボタンをクリックしてください。

- ② 「練りの嵐6.xlsx」の EXCEL を同時起動します。

- ③ 画面の4項目を正しく入力して【アクティベーション実行】ボタンをクリックしてください。

- ④ 練りの嵐の「チャートLicence」シートのライセンスチェック欄に「OK」と表示されたら、アクティベーション完了です。

※ ライセンスキーが正しくセットされると、ライセンスキーのセル色が青色に変わり、保護されます。

セキュリティの警告 マクロが無効にされました。 [コンテンツの有効化]

No.	項目	設定値	区分	備考
1	ご利用者氏名			ご利用者名をフルネームで入力して下さい。
2	メールアドレス			VECTORへ注文の際のメールアドレスを入力して下さい。
3	お申込番号			VECTORからのメールの「お申込番号」を入力して下さい。
4	ライセンスキー			VECTORからのメールの「ライセンスキー」を入力して下さい。

※本アクティベーションのEXCELは保存不要です。そのまま終了してください。
※「練りの嵐6.xlsx」は必ず、2画面状態のまま書き保存した上で、画面を閉じて下さい。

アクティベーション
実行

制限事項等

8. 制限事項等

- ① ライセンスご購入者個人での利用に留めていただき、複製、転用、販売などの二次利用は禁止です。
- ② ライセンスは、ご購入者の方自身が利用されるアカウントかつコンピュータのみで使用することができます。
ご購入者の方が別アカウント（または別コンピュータ）で使用される場合は、ライセンスのアクティベーションが再度必要です。